

(タイトル)

## 電子書籍について

電子書籍とは、データを購入し、端末を通して小説や漫画を読むことができるという新しいシステムです。

データは物理的な場所をとらないので、たった一つの端末で複数の本を読むことができ、出版社でも在庫の負荷軽減や絶版による販売機械の喪失が防止できるという利点がある一方で、著作権などの問題もあります。

雑誌や新聞などもデータ化が可能で、挿絵や扉絵はもちろん、紙の書籍では不可能な、動画、音声などを組み込むこともできます。

特に大きな問題としては、書籍に関わる著作権などの権利関係があります。本来電子化をする権利は、著者や作者のものですが、実際は出版社にある場合があります。またアニメなどを原作とした場合、キャラクターは製作会社が権利を有しているため、複雑な権利関係进行处理しなければならない場合もあります。このような権利の複雑さが、電子書籍化を躊躇させる一因にもなっています。またデータである以上、破損や故障、電池切れなどの問題があります。

紙媒体はかさばるということが大きな欠点ですが、現時点では紙媒体のほうが、その欠点を上回るほどの利便性を持っているといえます。繰り返し読んだり、好きなシーンをもう一度読むということに関しては紙のほうが上ですが、文字を拡大したり、読み上げたりという点では電子書籍のほうが便利です。

TPOを考え賢く使い分けることが大切になってくると思いました。